



宝満神社奉納能楽【新開能】

祇園祭



幸若舞



清水寺

清水寺楼門



清水寺三重塔

みやまの  
みどころ 2

# 伝統文化

郷土色豊かな祭りは地域の宝。  
大切に受け継いできた人々の想いも次世代へ。

- 国の指定文化財**
- 石神山古墳 (国指定史跡・高田町上楠田)
  - 武装石人 (国指定重要文化財・高田町上楠田)
  - 清水寺本坊庭園 (国指定名勝・瀬高町本吉)
  - 女山神籠石 (国指定史跡・瀬高町大草)
  - 新舟小艇のクスノキ林 (国指定天然記念物・瀬高町長田)
  - 幸若舞 (国指定重要無形民俗文化財・瀬高町大江)
  - 始小屋ガンジボタル発生地 (国指定天然記念物・瀬高町長田ほか)
  - カササギ生息地 (国指定天然記念物・瀬高町、山川町、高田町竹飯)
- 県の指定文化財**
- 石椁 (県指定考古資料・高田町上楠田)
  - 旧柳河藩干拓遺跡 (県指定史跡・高田町黒崎間ほか)
  - 清水寺三重塔 (県指定建造物・瀬高町本吉)
  - 清水寺楼門 (県指定建造物・瀬高町本吉)
  - 宝満神社奉納能楽【新開能】 (県指定無形民俗文化財・高田町北新開)
  - どんきんきん (廣田八幡神社神幸行事) (県指定無形民俗文化財・瀬高町大廣・本郷)
  - 大人形・大提灯 (県指定有形民俗文化財・瀬高町上庄)
  - 金栗遺跡 (県指定史跡・瀬高町小川)
  - 長田のイチョウ (県指定天然記念物・瀬高町長田)
  - 法華経千部遊修板碑 (県指定考古資料・瀬高町本吉)
  - 貝製壘球 (県指定考古資料・瀬高町大草)
  - 大賀宗自寄進大般若経 (県指定有形民俗文化財・高田町黒崎間)
  - 成合寺谷古墳 (県指定史跡・瀬高町本吉)
  - 線香花火製作技術 (県指定無形民俗文化財(民俗技術)・高田町竹飯)

幸若舞 (国指定重要無形民俗文化財) / 毎年1月20日に大江天満神社内舞堂で上演されます。日本芸能の原点といわれ、全国でも瀬高町大江地区でしか見られません。700年以上の伝統をもち、現在も大切に伝承されています。

宝満神社奉納能楽【新開能】 (県指定無形民俗文化財) / 享保元 (1716) 年、柳河藩主立花氏が祈願成就のため能楽を奉納したのが起源。明治以降、宝満神社氏子の自主運営となり、毎年10月第3土曜日に能・狂言を奉納します。

祇園祭 / 高田町江浦町と瀬瀬の祇園祭は、大蛇山が火を吹きながら、太鼓や鉦の音とともに練り歩く勇壮な祭りです。



大人形 (県指定有形民俗文化財) 大提灯 (県指定有形民俗文化財)



江浦町白かぶり どんきんきん (廣田八幡神社神幸行事) (県指定無形民俗文化財)



羽占御試祭 (市指定無形民俗文化財) 中御風流 (市指定無形民俗文化財)

本吉山 清水寺

清水山の山腹に佇む、天台宗の古刹。大同元 (806) 年、最澄 (伝教大師) がねむの木で千手観音像を刻んだのが始まりとされ、古くより安産・子授け・縁結びの観音様として信仰を集めています。

清水寺 楼門 (山門) (県指定建造物)

延享2 (1745) 年、柳河藩主が願主となり、当時の建築技術の粋を集めて建立。木造入母屋二層、高さ10.8m。現在の屋根は銅板葺ですが、造営当時は檜板葺でした。

清水寺 三重塔 (県指定建造物)

寺のシンボルともいえる美しい朱塗りの塔は文政5 (1822) 年、柳河領内住民と近国信者の寄進により、大阪の四天王寺五重塔を模して着工。14年の歳月をかけて天保7 (1836) 年に落成。高さ約26.5m。

みやまの  
みどころ 1

# 歴史

いにしへの面影を色濃く残す史跡や古刹。  
巡り歩けば、悠久の歴史を感じることができます。

武装石人 (国指定重要文化財)

胄や鎧を身につけた武人を、阿蘇の溶岩に写実的に刻んだ丸彫りの武装立像。赤く彩色されています。5世紀の石神山古墳(国指定史跡)から明治44 (1911) 年に発見。



武装石人

女山神籠石 (国指定史跡)

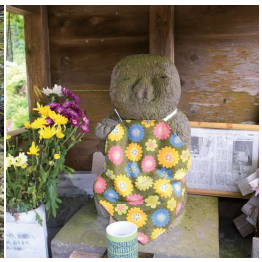
7世紀の古代山城と考えられる神籠石の列石が女山史跡森林公園で見られます。1辺約70cmの立方体に加工された列石が女山地区丘陵に約3kmにわたって馬蹄状に並んでいます。



女山神籠石



五百羅漢



はなたれ小僧さま

五百羅漢

文化文政の頃から大正にかけて奉納された、お釈迦様の弟子500人の修行僧の像。明治以降に心ない者が首をすべて落とし、首なし地蔵と呼ばれていましたが、再び誰かの手により首がつけられました。

はなたれ小僧さま

日本に古くから伝わる民話「はなたれ小僧さま」発祥の地である山川町に作られた、願いを叶えてくれるという、ありがたい石像です。